

サーチライト With Pastor Jon 黙示録 14 章 パート 2

このメッセージはアップルゲート クリスチャン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するの必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにしてはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rin

患難時代には、この御使いが地上の人々に叫びます。

「獣の印を受けるな！」

御使いが大声で言った、と 9 節に書いてあります。

嘆願し、ありのままの真実を人々に伝えるという事。

これが、皆さんにお願いすることであり、既に聖書を教え、伝道している自分自身にも要求することです。

御使いになって！

どうか、御使いになって下さい!!

皆さん、御使いになって下さい!!!

最近、御使いについて多くの方が語っていますね。

フワフワとした正体不明の生き物…

でもここを見ると、御使いは、なくてはならない、とても重要なメッセージを、大声で力強く叫んでいるのが分かるでしょう。

ここでの表現は、あなたの服にプリントされているような、フワフワして、矢を持った天使とは異なります。

彼らは、激しく熱烈に嘆願し、大声で宣言し、猛烈に伝道しています。

「神を拝め！」

「バビロンの策略に加担してはならない！」

「獣の印を受けるな!!!」

もしバビロンの策略に加担するなら、もし額か手に獣の印を受け取るなら、あなたは地獄に行き、失わ

れ、永遠に激しく苦しむこととなります。
地獄は現実であり、ゲームのような遊びではありません。

イザヤ書 20 章だったと思いますが、この 2 - 3 日の間には是非読んで下さい。
驚くべきことが書かれているのです。

イザヤの時代、アッシリア人たちは攻撃を仕掛けるため、イスラエルとエジプトの方に向かっていました。

しかし、イスラエルの人々は深刻に受け止めておらず、「もう…勘弁してよ。」

「我々がアッシリアに滅ぼされるワケがない。」

同様に、エジプトとエチオピアの人々も、真剣に捉えてはいませんでした。

そこで、感情豊かで、雄弁で、詩人のように美しい表現で語るこの預言者イザヤに、神は言いました。

「イザヤよ。人々は聞いていない。非常に危険だ。」

「あなたの腰の荒布を解き、あなたの足のはきものを脱げ。」(イザヤ書 20:2)

「そして、この地域を裸で 3 年間歩きなさい。」

聖書には、独特の個性を持った預言者が何人も登場しますから、このようなことを行う他の預言者の姿は想像できます。

でも、イザヤが？

彼は、そこら辺の変質者ではありませんよ。

とにかく、この天才的な、パワフルで、雄弁で、教養のある預言者イザヤは、服を脱ぎ、聖書に書かれている通り、自分の背中を晒しました。

聖書の記述よりも少し上品に表現してみましたが、彼は 3 年間、裸で歩き回ったのです。

なぜ神は、こんなことを要求したのでしょうか。

それは、人々が余りにも頑なになり、預言に耳を貸さず、忠告を聞かなかったからです。

それで神は、人々の意識を自分に向けさせようとしたのです。

アッシリア人がイスラエルの人々を捕らえた時、全く同じことをします。

捕囚たちの服を剥いで裸にし、口に釣針を引っかけて人と人を繋ぎ合わせ、中東の砂漠を何マイルも裸で歩かせました。

何百万人もの人々を引っ立てて行ったのです。

アッシリア人は、想像をはるかに超えて、残虐で狂暴でした。

だから、神は言ったのです。

「イザヤよ。狂暴で危険な者たちが、こちらに向かっている。

だが、人々は耳を傾けず、聞いてはいないし、理解もしていない。

だから、あなたには、裸になってもらいたい。

あなたが裸で歩き回れば、人々は立ち止まり、不思議に思って、わたしたちに注意を向けるだろうから。」

皆さんは言いたいでしょう。

「ジョン先生、要するに…何を言いたいのですか？」

「どうして今、この話を持ち出すの？」

それは、私たちが終わりの時代を生きているからです。

私たちは、極めて重大な時代を生きています。

主が、愛する人々のために戻ってくる日が近いのです。

もう、戸口のところまで迫っています。

でも、あなたの親戚、私の友人、私たちの同僚の中に、地獄に向かっている人たちがいて、「そんなこと、実際には起こらないよ！」と思っている。

どうしますか？

「なるようになる。」と言ってしまうには、リスクが高過ぎます。

私たちは、紛れもない真実を伝えなければならないのです。

「あなたは地獄へ向かっている！」

「地獄に墮ちるんだぞ！」

「そこは『無』なんかじゃない。」

「ニューエイジや東洋哲学が教えているような所ではない。」

「天国があり、地獄もあるんだ。」

「あなたのことを本当に思うから、ありのままの真実を伝えているんだ！」

体を晒すのではなく、心を打ち明けるのです。

「でも…みんなに笑われる…」

人々はイザヤに何をしたと思いますか？

「でも、みんなは、僕のことをおかしいと思うだろう。」

それが、本当に問題ですか？

明日、職場で会う人は、信者でないなら地獄に行くのです。

彼らは、実際、確実に地獄へ行くのですよ。

神は、誰ひとり、滅びることを願っていません。

イエスは、マタイの福音書の中で、地獄は人々のためではなく、悪魔と悪霊のために造られたと言っています。

それなのに、人々は悪魔の道を選んで、ついて行くのです。

人間が行う最も悪魔的な行動は、「神が、私のために、自分の息子をこの世に送って死なせた？それがどうした!？」と言うこと。

これが、人間にできる最も悪魔的な、最悪で、恩知らずの下劣なことです。

「それがどうした!」「私は大丈夫。」「俺は強運の持ち主だ。」

「私は共和党员だし、アメリカ人だし、ちゃんと税金を払っているし。」

違います。

聖書は、罪が問題だと言っています。

罪を犯せば地獄に行く。

私たちは、サタンに加担する方を選んでいました。

しかし神は、あなたと私を本当に深く愛しておられるので、私たちを地獄から救う道を備えて下さったのです。

神は、ひとり子を、十字架で死なせるために、この世に送られた。

あなたは、この永遠の福音を知っていますね。

でも、あなたのお母さんは、お父さんは、あなたの孫娘はどうでしょう。

彼らは地獄へ向かっているのです。

アッシリア人が迫って来ている。

私たちは終末の時代において、終わりの時は、もう、すぐそこに来ています。

私たちが言っている危機が本当なら、信者でない近所の人や友人、彼も彼女も彼らもみんな、どうなりますか？

私たちが、知識をたまに会話の中にちりばめるだけで、どうして信じることができますか？

イザヤのように心をさらけ出して、紛れもない真実を伝えるなら、彼らは信じるのではないですか？

「ほら！これが真実だ。」

「神は、あなたが永遠に天国で過ごすことを願っている。」

「神は、あなたを家族の一員にしたいんだ。」

「だから、信じるんだ。受け取るんだ！」

「あなたが、キリストを救い主として受け入れられるように、一緒に祈らせてくれないか？」

御使いになって下さい。

この御使いたちは、遂に戦いを挑んで、大声で伝え、宣言し、伝道しています。

「神を礼拝せよ！」

「獣の印を受けてはならない！」

「永遠の激しい苦しみを受けることになる!!!」

「これは現実で、危険度は高まっている！」

「聞くんだ!!!」

これが、真の御使いのメッセージです。

「あなたの気分を害したくないの。ただ、みんなに好かれたいのよ。」

それは、ニューエイジのやり方です。

聖書の御使いは、大胆に、情熱を持って、はっきりと伝えています。

神は、誰ひとりとして、滅びることを望んでいません。

だから、私たちは伝えなければならないのです。

あなたがイエスの死体を踏みつけるなら、あなたは地獄に行きます。

これが、あなたが滅びる唯一の道。

主は、あなたの自由意思を絶対に奪うことなく、何もかも全てをなさいました。

主は言っています。

「あなたが本当に地獄に行きたいのなら、わたしの死んだ体の上を通り越しなさい。
そうしたら、地獄行きは可能だ。
わたしは、あなたのために死んだのだから。」

この書は、人々には危険が迫っていること、私たちには御使いになれ、ということをお告げしています。
人々に心を打ち明けて、紛れもない真実を伝えなさい。
イエス・キリストは、私たちの罪を担って、裸で十字架にかかったのだから。
これが、14章のメッセージです。

今日、人々は患難の中にいます。
そして私たちには、朽ちることのない福音を大胆に伝えていくために、何をすべきか、どうあるべきか
の実例と模範があります。
神が、知恵と憐みを与えて下さるように。
自分の傷や痛みに対する同情を求めないで、「神は良いお方だ！だから、迷い出た人に、永遠について
のメッセージを伝えなければ！」
そう言って、自分の痛みから、自分自身のことから目を離しなさい。
私は、皆さんだけでなく、私自身にも言っているのです。
永遠の裁きを受ける人たちの大変な状況を悟って下さい。
彼らのため、主の栄光のために、御使いであれ。
こうして、永遠に朽ちない福音を伝えた時、あなたは、御使いのように空高く舞い上がるでしょう。
この教会も、そしてあなた個人も、伝道するか化石化するかのどちらかです。
宣教できるように、神よ、助けて下さい。
心から。
イエスの御名によって。

つづく

人の子よ。わたしはあなたをイスラエルの家の見張り人とした。
あなたは、わたしの口からことばを聞くとき、わたしに代わって彼らに警告を与えよ。
わたしが悪者に、「あなたは必ず死ぬ」と言うとき、もしあなたが彼に警告を与えず、悪者に悪の道か
ら離れて生きのびるように語って、警告しないなら、その悪者は自分の不義のために死ぬ。
そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。(エゼキエル書 3:17 - 18)

わたしは、だれが死ぬのも喜ばないからだ。—神である主の御告げ—
だから、悔い改めて、生きよ。(エゼキエル書 18:32)